

「五泉市地域公共交通網形成計画」の策定について

1. 経過

五泉市においては、平成 21 年度に策定した「五泉市地域公共交通総合連携計画（平成 22 年度～31 年度）」に基づき、路線バスを中心とした公共交通網の再編を図り、五泉地区と村松地区の市街地を結ぶ「ふれあいバス」と周辺集落と市街地を結ぶ 乗合タクシー「さくら号」の導入を進め、公共交通空白地帯の解消を図る再編を実施しました。

再編実施後 8 年余りが経過する中、人口減少の進行、高齢者や高校生など交通弱者の増減、とりまく環境の変化など、五泉市の状況も大きく変化をしています。

2. 地域公共交通における課題 および 地域公共交通網形成計画の策定

現在 当市の地域公共交通では、複合施設の開設（平成 33 年秋）や東南環状線の開通（平成 36 年頃）をふまえた適切なアクセス方法や運行車両の確保、また、既存の運行事業に対する各種改善要望への対応や維持確保・利便性向上への検討など、様々な課題を抱えています。これらの課題については、市全体として利便性・効率性・収益性が改善されるような視点を持ち、調査、分析、検討を実施のうえ解決方法や方向性を定める必要があります。

については、新たな運行ルートの創設や車両の更新計画などを盛り込んだ「地域公共交通網形成計画」を策定し、公共交通の活性化を推進します。（計画期間：2020 年～2026 年（7 年間））

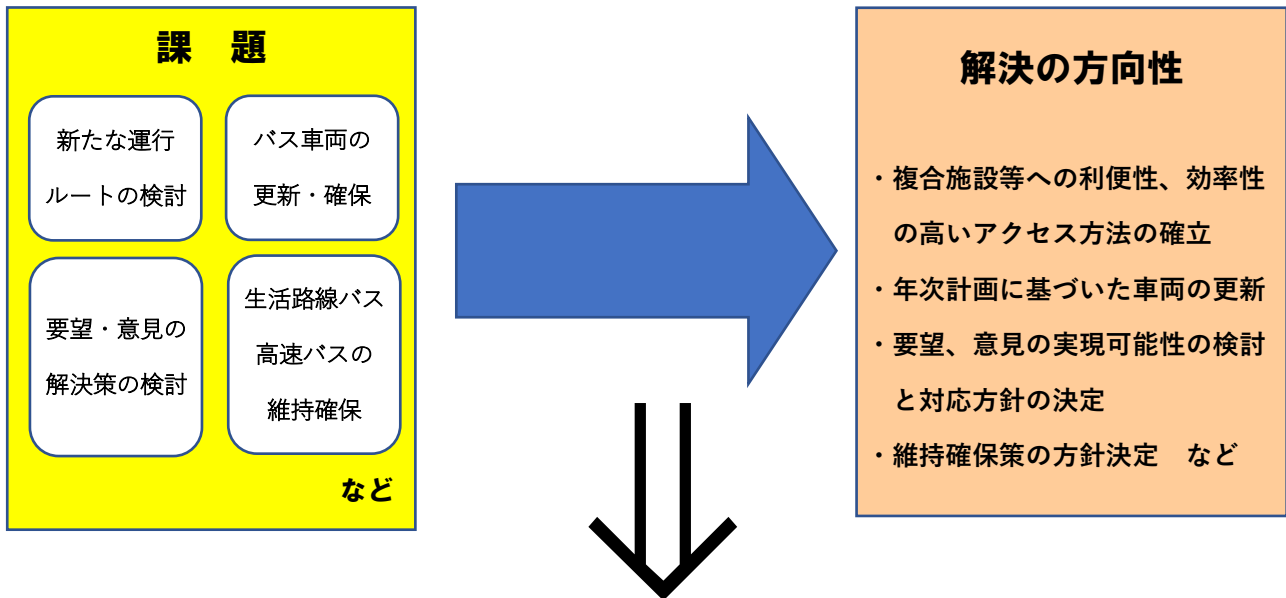
3. 課題と解決の方向性

- (1) 新たな運行ルートの検討 → 利便性・効率性の高いアクセス方法の確立
- (2) バス車両の更新・確保 → 年次計画に基づいた車両の更新・確保
- (3) 要望・意見の解決策の検討 → 費用、システムなどの面から実現可能性を検討
- (4) 生活路線バスの維持・確保 → 利便性と費用負担のバランスをふまえた維持確保策の検討
- (5) 高速バスの維持・確保 → 利便性と費用負担のバランスをふまえた運行支援策の検討

4. 計画策定方法と事業実施内容

- (1) 地域公共交通活性化協議会の開催（5 回）
- (2) 現状の整理・分析
- (3) アンケート調査の実施・集計
- (4) 意見集約と調整の実施
- (5) 基本方針・計画目標・目標値および具体的施策の検討・設定
- (6) パブリックコメントの実施
- (7) 計画の策定・公表（2020 年 3 月）

地域公共交通網形成計画策定による課題解決のイメージ



地域公共交通網形成計画の策定が必要

計画策定の基本的な考え方と視点

- ・「ふれあいバス」、「さくら号」の基本的な運行体系の維持
- ・人口減少の進行、交通弱者の増減、とりまく環境を勘案した適切な公共交通の維持確保
- ・市全体の利便性、効率性、収益性の改善 ・村松地区からの直通性 ・実現性や妥当性の検証

調査

- ・市民や利用者の意向
- ・統計データ、運行実績
- ・利用者動態 など

分析

- ・現行制度の評価、検証
- ・将来推計(シミュレーション)
- ・施策の効果、有効性 など

意見集約・調整

- ・庁内検討委員会の開催
- ・国、県や各種関係団体との調整

施策の決定

- ・課題解決への具体的施策と実施スケジュールの決定